

## P12 離岸流安全情報提供に関するフィージビリティスタディ

海洋情報課 苅籠泰彦

技術・国際課 海洋研究室 難波江 靖

### 1. 研究目的

米国においては米国国立気象台が気象関係注意報の一環として離岸流に関する注意報・警報を発出している。我が国でも同様なことができるか検討するため、日本国内において、日本と米国の離岸流による海難の特徴の差異の有無や、利用可能なデータがどのようなものがあるかの調査を実施した。

### 2. 手法

国内における離岸流による海浜事故に関する情報を収集している日本ライフセービング協会（JLA）に対してヒアリングを行った。また、同協会が発行しているレスキュー事案の統計データであるパトロール統計を提供頂き、利用可能なデータがあるかの確認を行った。

### 3. ヒアリング結果

日本の海浜事故の特徴として1つに、離岸流事故の割合が低い事を指摘された。豪州で9割、ブラジルで7割程度が離岸流原因の事故とされているのに対し、日本国内は4割程度であるとのこと。

また、日本国内はポケットビーチのような小規模な海浜が多い。このため、ビーチ毎に特性が異なることが推察される。

データとしては、米国において離岸流注意報・警報を出すのに活用されている、離岸流によるレスキュー事案が発生したときの位置及び時刻に関する情報は、パトロール統計としては収集されていない。

表1 離岸流レスキュー数の多いビーチ

| 海岸 | エリア | 2013  |           | 2014  |           |
|----|-----|-------|-----------|-------|-----------|
|    |     | レスキュー | 客         | レスキュー | 客         |
| A  | 相模湾 | 340   | 2,981,702 | 3     | 1,701,500 |
| B  | 外房  | 202   | 82,290    | 42    | 67,415    |
| C  | 外房  | 150   | 143,554   | 56    | 122,792   |
| D  | 茨城  | 112   | 43,723    | 23    | 36,420    |
| E  | 相模湾 | 76    | 793,500   | 122   | 不明        |
| F  | 外房  | 48    | 149,548   | 2     | 44,802    |
| G  | 相模湾 | 30    | 69,190    | 10    | 59,186    |
| H  | 外房  | 25    | 310,030   | 35    | 240,000   |
| I  | 山陰  | 25    | 61,826    | 18    | 31,900    |
| J  | 山陰  | 24    | 79,062    | 9     | 63,210    |
| K  | 遠州灘 | 20    | 70,000    | 5     | 18,562    |
| L  | 外房  | 17    | 15,390    | 21    | 12,320    |
| M  | 伊豆  | 16    | 46,518    | 25    | 20,480    |
| N  | 茨城  | 15    | 26,900    | 6     | 17,000    |
| O  | 外房  | 10    | 193,166   | 293   | 56,920    |
| P  | 伊豆  | 10    | 42,555    | 40    | 38,560    |
| Q  | 伊豆  | 0     | 56,190    | 32    | 63,895    |
| R  | 伊豆  | 0     | 47,912    | 30    | 41,180    |
| S  | 遠州灘 | 0     | 133,479   | 30    | 93,347    |
| T  | 伊豆  | 5     | 60,035    | 28    | 35,636    |
| U  | 相模湾 | 3     | 37,100    | 18    | 不明        |
| V  | 山陰  | 5     | 50,000    | 17    | 12,171    |
| W  | 相模湾 | なし    |           | 12    | 1,701,500 |
| X  | 大阪湾 | 0     | 23,000    | 12    | 123,876   |
| Y  | 外房  | 1     | 37,536    | 10    | 16,023    |
| Z  | 山陰  | なし    |           | 10    | 12,000    |

### 4. ビーチ別離岸流レスキュー数

表1は離岸流レスキュー数の多い海岸をパトロール統計から抜き出したものである。この離岸流レスキュー数が2年連続で多いビーチがいくつかあることが分かるが年100件以上発生する場所は少ない。エリアの傾向もあるが、これは客数及びビーチ数が多いことも反映している。

### 5. まとめ

時刻を記録したレスキューデータがなく、ビーチ辺りの件数も少ないことから米国と同様な方法での統計解析は現在のデータからは実施できない。

今後、本研究を続けるためには、離岸流レスキューについては、特定のビーチで多くおきる傾向があることから、場所を絞り、レスキュー数以外の方法での離岸流発生状況を把握していくことが必要となるだろう。